

ウリ科 スズメウリ属

スズメウリ (雀瓜)

Zehneria japonica (Thunb.) H.Y.Liu

自生環境

水辺、野原 など

原産地

日本在来

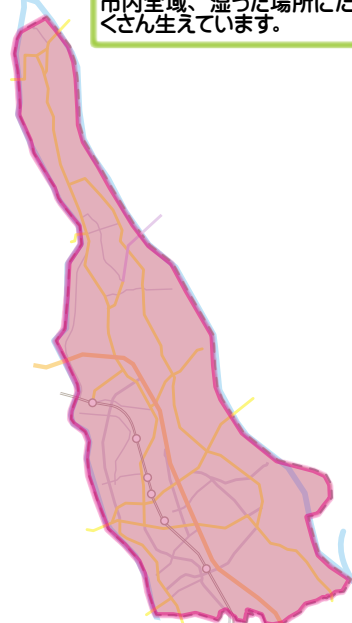
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、湿った場所にたくさん生えています。



特徴

- ☆ 湿った場所に多く生えるつる性の1年草です。水辺の草むらで、草木に絡みつながら育っている姿をよく見かけます。葉のわきから巻きひげを出し、これを使って体を支えています。茎は細く、華奢な印象な草です。
- ☆ 夏から秋にかけ、直径6 mm ほどの白い花を咲かせます。花はふつう、葉のわきからのびた長い柄の先に1個つきます。1つの株の中に雄花と雌花が混じって咲きます。果実は直径1~2 cm ほどの球形で熟すと白くなります。名前の由来の説のひとつに、この果実をスズメの卵に見立てたというのがあります。
- ☆ 秋深くなると、つるの先が土の中に潜り、地中で太くなって塊根(かいこん)を形成します。この塊根はそのまま冬を越し、翌年の春になると芽を出して新しい株として育っていきます。

1株に雄花と雌花が咲く

秋の野山で真っ赤な果実がよく目立つカラスウリ。これは雄株と雌株にはっきり分かれており、雄株には雄花だけ、雌株には雌花だけが咲きます。そして結実するのは雌株のみです。このようなタイプを「雌雄別株」と言います。スズメウリの花も雄花と雌花の区別があります。しかし1つの株に雄花と雌花が混じりあうように咲き、すべての株が結実します。これを「雌雄同株」と言います。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

